

岡山県立津山東高等学校学校運営協議会 第3回会議
兼 令和4年度学校関係者評価委員会 議事録〔概要版〕

令和5年2月15日(水) 15:00~16:30
津山東高校多目的活動棟多目的室

○出席者 委員10名(校長含む)中7名が出席

学校側出席者：教頭2名、普通科(兼進路支援部長)・食物調理科・看護科の各科長
教育企画部・学習支援部・生徒支援部・進路支援部・教育環境部の各部長

〔協議の概要〕

学校側出席者から担当ごとの最終まとめ及び各分掌の取組について報告

- (委員) 平均学習時間の目標が達成されていない学年があるが、どのような対策をとっているか。
- (学校) 学習マネジメント調査を、単なる生活の記録ではなく、効果的な時間の使い方を確認するための機会として活用するよう、生徒に指導している。
- (委員) 部活動の活性化についてどのように考えるか。
- (学校) 在校生は中学生の頃から大会の中止などを経験してきており、現在はその影響もあると考えている。最後の体育分野生が卒業したが、引き続き部活動の核となる生徒をどのように育てていくかが課題である。
- (委員) 食物調理科の卒業制作展示発表会を拝見し、これだけ質の高い作品を仕上げる努力の過程で、自己肯定感が育まれているのではと感じた。
- (学校) 3年生は、就職を間近に控えると、より向上心を持って取り組むようになる。1, 2年生はその姿を見ることで大きく成長する。
- (委員) 学校自己評価アンケートの満足度をどのように分析しているか。コロナ禍の影響はあるか。
- (教頭) 「コロナ禍においても感染防止対策をしつつ極力教育活動を続ける」という方針で学校運営を行ってきた。その甲斐あってか、おおむね学校生活に満足しているという生徒が多いと分析している。
- (委員) 津山市の人口流出が続いており、東高の卒業生にはできるだけ津山に留まってほしいと願っている。就職状況はどうか。
- (学校) 食物調理科の今年の卒業生は県内就職が多かったが、県外求人も復活傾向にある。専攻科生の多くは実習病院を中心とした管内の病院等に就職している。
- (校長) 津山市さんには行学の地域課題解決型探究学習などで多大なご協力をいただいている。普通科生も行学などを通じて地域の良さを知り、大学進学で一旦外に出ても地元に戻ってきたいと思っている生徒も増えていると思う。

○学校関係者評価

「令和4年度の具体的な学校経営目標・計画」各項目に対する評価（ABC）

- 1 志望進路実現のための、主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の育成→【A】
- 2 健やかな心身の育成と人間力の向上→【A】
- 3 安全安心で快適な学校生活のための施策の推進→【B】
- 4 学校の魅力化と情報発信（開かれた学校づくり）→【A】